

スムーズで扱いやすい出力特性

CBR250R は単気筒ならではのワイドなトルクバンドを活かして、市街地で多用する低回転域はスムーズかつトルクフル、中・高回転域はワインディングでも伸びやかに吹けあがるなど、250cc スポーツバイクとして全域にわたって楽しめる性格を備えました。

—ショートストローク

スポーティーな性格を実現するためショートストロークエンジン (ボア × ストローク $\phi 76 \times 55$ mm) とし、レスポンスの向上をはかりました。このボア × ストロークは Honda スーパースポーツの「CBR1000RR」とほぼ同一です。

クランク、コンロッド、ピストンは慣性マスの低減のために徹底的な軽量化をはかり、良好なエンジンレスポンスを得ました。

■吸・排気形状断面図

